

プライマーP

シリコン・シーリング目地への後塗装用プライマー

弾性シーリング材を使用した目地の上に塗装することは原則として避けるべきこととされており、特にシリコン・シーリング材の場合は、一般の塗料や吹付け材は密着はするが接着はしないので、そのまま塗装すると剥落することがあります。

しかし止むを得ずシリコン・シーリング材目地の上に、後塗装を行なう場合、東レ・ダウコーニング・シリコンのプライマーPを処理することにより、塗装の剥落を抑制することができます。

使用方法

- (1)目地に打ってあるシリコン・シーリング材が硬化していることを確認してください。
- (2)プライマーPの缶を開いたらヘラなどで内容物をよくかきまぜて均一にしてください。原液塗布をおすすめしますが、稀釈する場合は、キシレン（あるいはトルエン）で、10%以下の範囲に留めてください。
- (3)刷毛、ローラーなどを用いてシリコン・シーリング目地の上に塗布してください。
- (4)プライマーPが乾燥した後（できれば翌日）仕上げ塗装をしてください。
（仕上げ塗装が溶剤系の場合、プライマーP塗膜が乾燥、養生不足だったり、塗膜に長時間溶剤を接したりするとプライマーP塗膜が侵されることがあります。）
- (5)ご使用予定の塗料による確認テストを事前に行なうことをおすすめします。
- (6)低濃度塗料をご使用の場合、はじくことがありますのでその場合は重ね塗りするか濃度を高めてご使用ください。

代表特性(出荷規格ではありません)

外 観灰白色 シロップ状
比 重, 25°C 1.15
固型分, % 45
溶 剤キシレン
オープンタイム { 夏季 30分 冬季 60分

後塗装特性

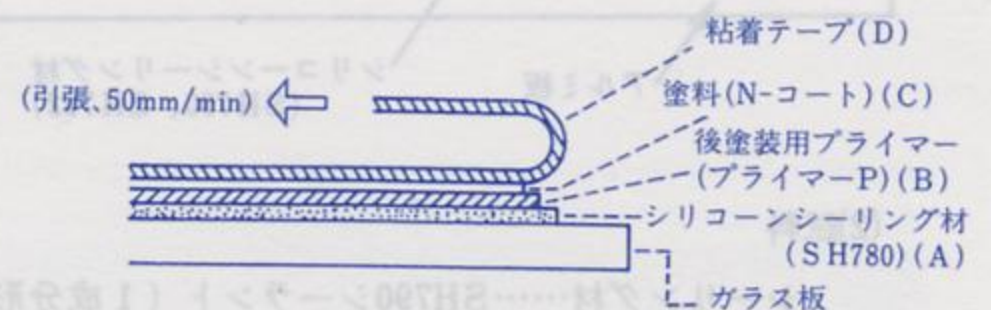
実験1：水性アクリル/SH780シーラント

- (1)実験概要：シート状に硬化させたシーリング材表面にプライマーPを刷毛塗り、乾燥(室温60分)後仕上げ塗装を行なう。
室温7日養生後セロハンテープあるいは布粘着テープを用いてはく離試験を行なう。

(2)試料

- a)シーリング材.....SH780シーラント (1成分形、無酸、高モジュラスタイプ)
- b)仕上げ塗料.....Nコート (水性アクリル、恒和化学株)
- c)粘着テープ.....セロハンテープ(ニチバン)、布粘着テープ(スガワラ)

(3)試験体



(4)実験結果

(シーリング材=SH 780シーラント)

SH792シーラント (2成分形、低モジュラスタイプ)

テープ	後塗装用プライマー処理	仕上げ塗装 (密着性)*	剝離抵抗 g/cm	破断状況
セロファンテープ	無処理	なし	0 (抵抗なし)	A-D間剝離
		塗装*1	0 (抵抗なし)	A-C間剝離
	プライマーP	なし	200	B-D間剝離
		塗装*2	333	B-C間剝離
	他社品	なし	67	B-D間剝離
		塗装*2	139	B-C間剝離
布粘着テープ	無処理	なし	0 (抵抗なし)	A-D間剝離
		塗装*1	0 (抵抗なし)	A-C間剝離
	プライマーP	なし	320	B-D間剝離
		塗装*2	240	B-C間 60% C-D間 40%
	他社品	なし	88	B-D間剝離
		塗装*2	136	B-C間剝離

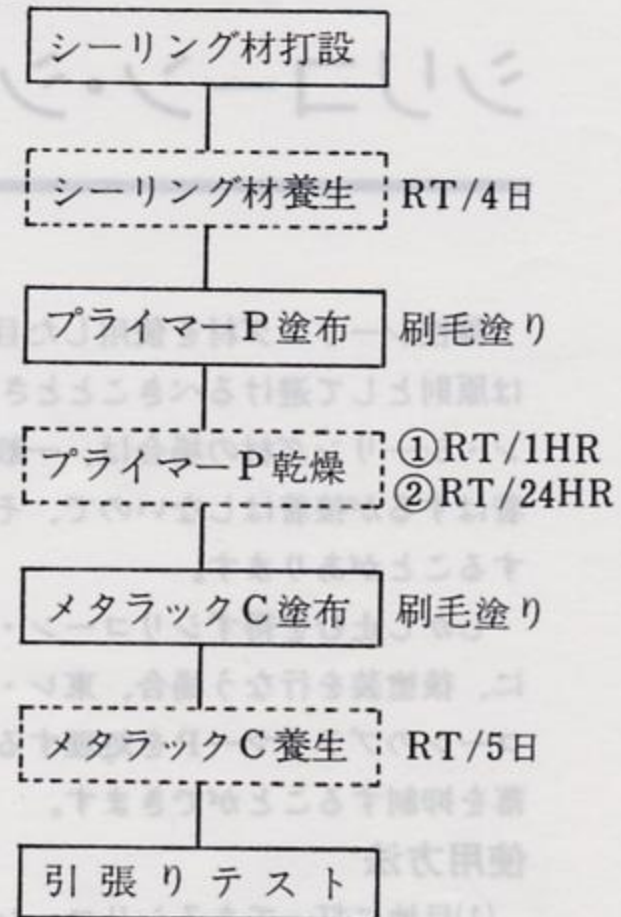
*塗料の下地への密着性

*1……密着性不良

*2……密着性良好

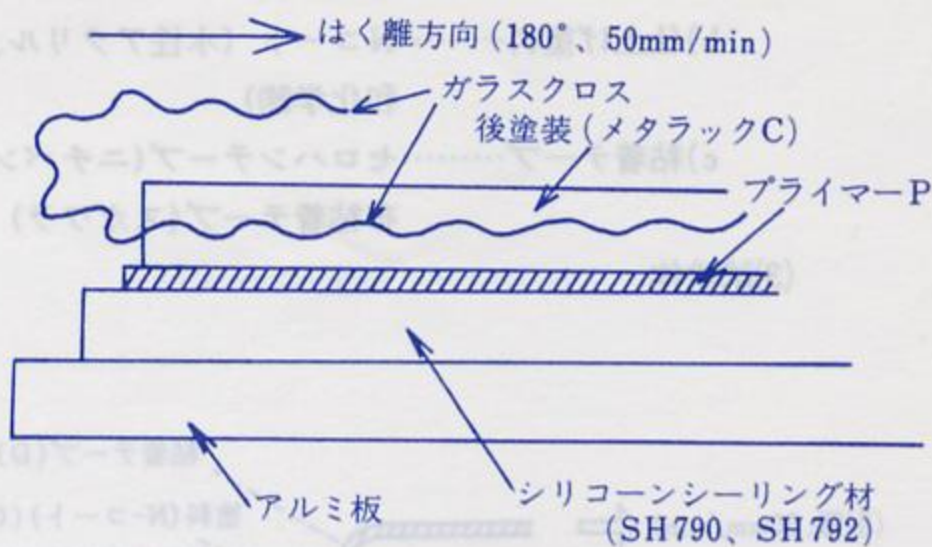
仕上げ塗料……メタラックC (アクリル系、溶剤タイプ、藤倉化成株)

(3)実験手順



実験2 : アクリル 溶剤系 / SH790、SH792シーラント

(1)実験概要：シーリング材硬化シートにプライマーP処理を施した後、ガラスクロスを塗り込むように後塗装する。塗装養生後にひきはがし試験を行なう。



(2)試料

シーリング材……SH790シーラント (1成分形、低モジュラス)

(4)実験結果

シーリング材	プライマーP処理	密着力 (kg/25mm)	破断状態
SH790 シーラント (1成分形)	なし	0.03	メタラックC/SH790はく離
	あり(乾燥 1HR)	5.5	プライマーP/メタラックC } 混合破断 メタラックC/ガラスクロス }
	あり(乾燥 24HR)	6.5	
SH792 シーラント (2成分形)	なし	0.01	メタラックC / SH792はく離
	あり(乾燥 1HR)	0.5	プライマーP/メタラックC } (プランクに比較すれば抵抗大)
	あり(乾燥 24HR)	0.4	

実験3 : ウレタン溶剤系 / SH780、SH790、SH792シーラント

(1)実験概要：実験1と同様の貼り付けテープ引きはがし法による性能確認。



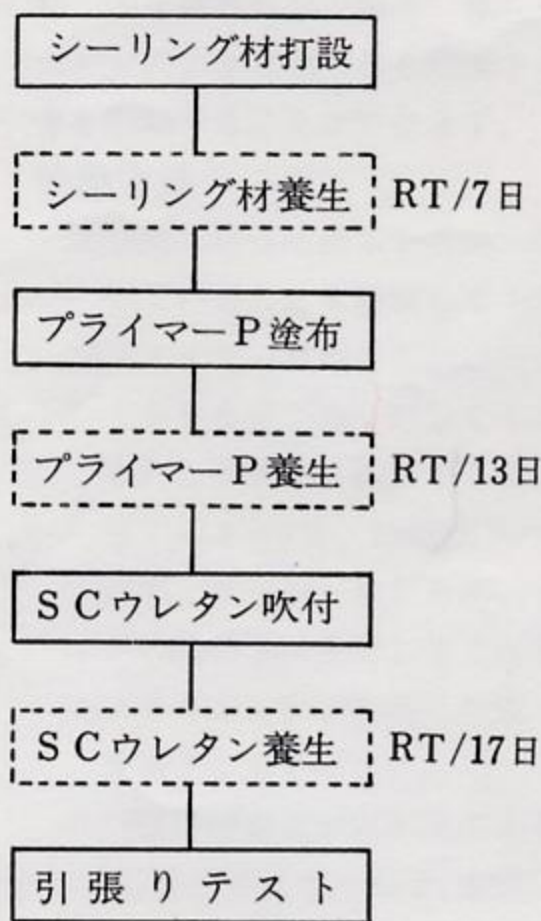
(2)試料

シーリング材…… SH780シーラント（1成分形、無酸、高モジュラスタイプ）
SH790シーラント（1成分形、低モジュラスタイプ）
SE792シーラント（2成分形、低モジュラスタイプ）

仕上げ塗料…… SCウレタン（ウレタン系溶剤タイプ、日本サンカラー㈱）

粘着テープ…… NITTO NO.500（日東電工㈱）

(3)実験手順



(4)実験結果

シーリング材	プライマーP処理	密着力 g/cm	破断状態
SH780 シーラント	無処理	24	SH780/SCウレタン間はく離
	プライマーP	500	プライマーP/SCウレタン間はく離
SH790 シーラント	無処理	230	SH790/SCウレタン間はく離(抵抗あり)
	プライマーP	1230	粘着テープ粘着剤層の破壊
SE792 シーラント	無処理	37	SE792/SCウレタン間はく離
	プライマーP	570	粘着テープ粘着剤層の破壊

保存方法

冷暗所保存。6ヵ月程度は安定です。

注意事項

- (1)火気厳禁。（危険物第4種、第1石油類）溶剤を含んでいますので作業中は換気を良くしてください。
- (2)使用対象品は弊社シリコーン・シーリング材に限ります。

梱包単位

1ℓ 金属丸缶

採録標準(1)

種別	成分	単位	シリコン
SH780	シリコン	g/cm ³	2.4
SH780	シリコン	g/cm ³	800
SH780	シリコン	g/cm ³	230
SH780	シリコン	g/cm ³	1530
SE792	シリコン	g/cm ³	37
SE792	シリコン	g/cm ³	870

採録標準(2)

SH780シリコン (1成分形、シリコン)

SH790シリコン (1成分形、シリコン)

SE792シリコン (2成分形、シリコン)

採録標準

採録標準(1) 採録標準(2)

注意

(1) 採録標準(1) 採録標準(2) 採録標準(3)

(2) 採録標準(1) 採録標準(2) 採録標準(3)

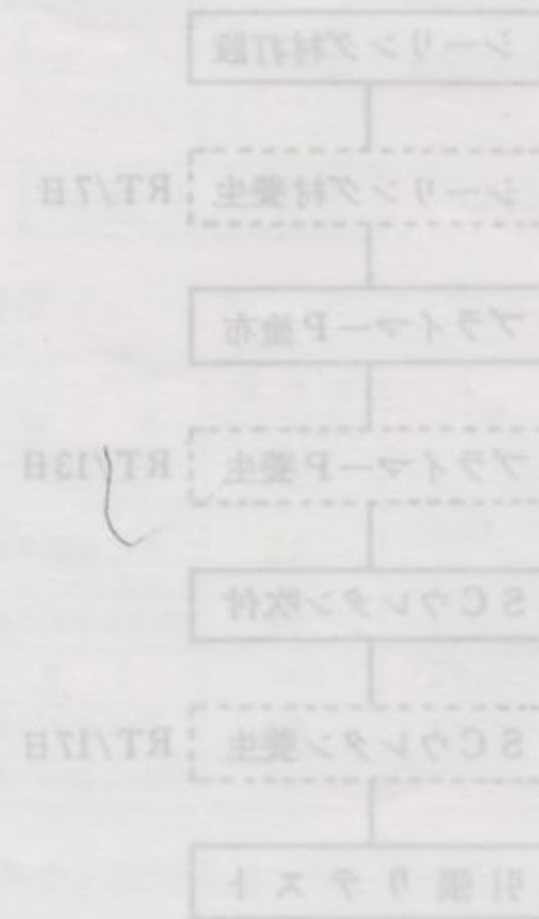
採録標準

採録標準(1)

採録標準(3)

採録標準(1) 採録標準(2) 採録標準(3)

採録標準(1) 採録標準(2) 採録標準(3)



お問合せはお近くの営業部・営業所へどうぞ

東レ・ダウコーニング株式会社

●本カタログ製品に関するお問合せは
専用フリーダイヤル：テクニカルインフォメーションセンター ☎(0120)77-6278
までお願い致します。

- 本店 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3 (AIGビル)
- 大阪支店 〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目1-4 (阪急ターミナルビル)
- 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 (名古屋三井ビル本館)
- 九州営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-7 (福岡平和ビル)
- 北陸営業所 〒919-0603 福井県あわら市矢地
- 東関東営業所 〒299-0108 千葉県市原市千種海岸2-2
- 仙台営業所 〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1 (住友生命仙台中央ビル)

取扱店

ここに掲載する情報およびデータは弊社が信頼できると確信する資料にもとづいて作成しましたが、ご使用に際しては貴方のご使用条件にて事前に十分な試験を実施願ひ貴方のご満足できる性能、効果の有無を必ずご確認ください。なおここでご紹介する使用方法、用途は、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。弊社の都合により本資料の内容を変更することがあります。又新製品、用途の開発によりカタログの再版を行う場合がありますので随時ご請求ください。